

新型コロナウイルスとの戦い方について、当初の頃に比べ、様子が見えてきたところがありますが、戦場にかかる“もや”が少し晴れてきた程度で、戦場にまだ敵がいることには間違いありません。



奈良県知事

荒井正吾

見えてきたとはどういうことか。ひとつには、新型コロナウイルスのうつされ方が、以前より明確に類型化できるようになってきました。うつされ方が分かれば、防ぎ方も分かります。大阪由来の感染が多いことには変わりはありませんが、大阪でのうつされ方に、夜の遊興や友人との会食が多くなり、勤務先での感染が減少しています。用心すべきパターンが絞られてきました。奈良県内での感染は、家庭・勤務先・学校などの類型が中心です。これらの感染場所での感染防止のやり方も分かってきました。現場での感染防止策を具体的に、そして正しく着実に行えば、感染が防止できた事例もあがってきています。

コロナは、防御の弱いところを攻めてきます。正しく用心し、正しく防ぐことを心がけ、健康のためにも伸び伸びと活動される機会を見つけていただければと思います。

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



介護職員の方々にエールを!

新型コロナウイルスの感染が広がり、全国では介護施設などにおいてクラスター(集団感染)が発生しました。しかし、奈良県では関係者の感染防止対策の徹底により、緊急事態宣言下においても集団感染は発生しませんでした。

介護サービスは、要介護・要支援の高齢者やその家族の生活を支えるために欠かせないものです。そのため、介護職員は、一人一人がうつらないこと、そして感染すると重症化しやすい高齢者にうつさないよう、日頃から徹底した感染防止対策をとってくださっています。

しかしながら、残念なことに、最前線で新型コロナウイルス感染症に対応されている福祉・医療の関係者を根拠なく傷つける事例が発生していることが、新聞や

テレビで報道されています。新たなウイルスに対する不安が、誹謗中傷や差別につながることはないよう、今一度、新型コロナウイルス感染症について正しい理解を深めましょう。そして、介護職員をはじめ、新型コロナウイルスと闘っている全ての方々に県民の皆さまの温かいエールをお願いします。

※掲載内容は8月5日時点のものです。

今月のポスター



奈良市立朱雀小学校 6年 酒井 優花さん



葛城市立新庄中学校 2年 李 素羅さん

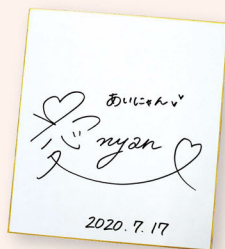
※学校名・学年・氏名は発表時のものです。

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

福本 愛菜さんのサイン色紙を5名にプレゼント!

締め切りは9月30日(消印有効)



○にあてはまる文字を答えてください。

Q 9月20日~26日は何の愛護週間?

A ○○愛護週間

ヒントは6ページ

7月号の答えは“福祉人材”でした。応募総数1237件。

ハガキにクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。  
[www.pref.nara.jp/30222.htm](http://www.pref.nara.jp/30222.htm)からも9/1以降応募できます。  
 ※個人情報、プレゼントの発送以外には使用いたしません。